

1 教育委員会関係分

(1) 付託事件審査

①議案第23号 令和元年度光市一般会計補正予算（第5号）（教育委員会所管分）

説 明：升教育総務課長 ～別紙

質 疑

○田邊委員

おはようございます。先ほどの39ページをお願いします。

小学校整備事業と中学校整備事業なんですけど、きのうテレビでやっていたんですけども、内閣府が出したソサエティ5.0、これによって山口県でも1人1台のパソコン、山口県のほうもそういったものをやるということ。国のほうでは2,311億円の補助でこれを行うということで、教育のほうは充実するということなんですけど、私が常々問題としている教師の多忙化、このあたりのプログラムなんかを、あればちょっとお聞きしたいということなんですけど、お願いします。

○河本学校教育課長

ギガスクール構想における教職員の多忙化への対応という御質問かと思えます。議員お示しのとおり、学校現場で教職員の負担がふえる、これはまぎれもない事実であろうと思えます。ただ、子供たちの学び、ここにつながる施策であることから、教職員の多忙化を改善しながらこの施策を進めていきたい、そのように考えております。現状でも行ってはおりますが、情報担当教員を中心にしまして研修会を開く、さらに教職員一人一人のスキルアップ、これを図るための研修も随時、今後予定をしているところであります。

以上でございます。

○田邊委員

わかりました。そういった専門の方をとり入れてと、また、教職員各人のスキルアップをするというところの考えはわかりました。その中で、その年次計画とかは、まだなんでしょうか。方向性だけというところなんでしょうか。

○河本学校教育課長

今、御指摘のような形で進んでいるのが現状ではありますけど、また、学校現場、教職員の声もしっかりと聞きながら、今後1人1台のパソコンの環境になるかもしれません。その際には、ICT活用計画、このあたりを策定しまして、同時進行ですが、教員のフォローアップの研修この充実、こちらにも取り組んでまいりたい、そのように考えております。

以上です。

○田邊委員

わかりました。今の社会の中では、やはり、パソコンを使ったITの教育というのは、早いほうがいいというのはわかります。そういったところで、ICT活用計画をぜひとも見える形で、今後は議会のほうにもお示ししていただきながら取り組んでほしい、というところをお願いして終わります。

○木村委員

せっかくの機会ですから、2点ほど。補正予算書39ページなんですが、先ほど御説明いただきました地域間交流事業、これ大変すばらしい事業なんですけれど、これが12名から8名ということで4名補助が外れているんですが、この人数が減っている要因というのは、何か原因があるんでしょうか。

○升教育総務課長

ただいま委員から参加人数についてのお尋ねがございました。こちらについては、本年度も例年同様12名程度を予定しておりまして、各校に募集をいたしたところでございます。部活動の状況等々いろいろ各種事情があって、応募が今回については少なかった状態で、8名という参加になっておりますけれども、過去3カ年で見ますと、おおむね12名程度の参加がございますので、本年度がちょっと特殊であったのかなというふうに認識をしております。

しかしながら、せっかくの機会を子供たちが活用できるように、これまで以上の周知方法というのは考えていかないといけないというふうに考えております。

以上でございます。

○木村委員

はい、わかりました。お1人について30万円ぐらいの補助で、受益者負担ということで本人負担が30万円程度あると思うんです、2分の1ですね。これがやっぱり保護者の御負担になっていて、なかなか応募ができないという事情もあるのかな、というふうなことも考えられますので、そこのところをまた、しっかりと考えていただきたいなと思います。

もう1点が、補正予算書の9ページ、児童福祉費補助金、国の補助金ですよ。国庫補助なんですけど、保育対策を総合支援事業費補助金2分の1ということで、サンホームの巡回アドバイザーという、新規の。この巡回アドバイザーというのは、どういうことを目指されているのか、そこら辺が、ここで補助についたという国の方針というものは一体何なのか、そこをちょっとお知らせいただけますか。

○原田文化・社会教育課長兼人権教育課長

巡回アドバイザーについては、本市では、平成22年度から嘱託職員という形で教員のOBの方を雇用しております。それぞれの13サンホームで、配慮を要する児童を受け入れる場合のケースについて協議を重ねるとか、保育の質を向上するとかいう形を考えて

おりまして、それぞれのサンホームを回ってサンホームの支援員とミーティングを重ねて保育の質を向上するというような形で、従前から進めておりました。国のほうも、児童保育の質の向上について力を入れていくという形が出てきまして、昨年の10月に補助の要綱が改正され、新たにその人件費的な部分が補助対象となった形でございます。

以上でございます。

○木村委員

了解しました。

○森重委員

ギガスクール構想のことでちょっとお聞きしたいんですけども、かつて電子黒板とかを導入するとき、かなり前になりますけども、デイジー教科書とか、いろいろICTを活用して、障害のある子供たちがこういうものを活用することによって、十分に対等な学習といいますか、そういうものが対応できるようになるというふうなそういうふうな話を聞いていたことが、現実には今回のこういうICT活用なんかでずいぶん進んで行くのではないかなというふうに思うんです。これ具体的に学校のICT活用、ちょっと今、構想だけで目に見えないんですけども、今からそういう構想、計画立てをしていくと言われましたけども、大体概要的にどういうふうなものが変わっていくのか、利点なのか、国が何を目指しているのか、そのあたりを少し教えていただければ助かります。

○升教育総務課長

どのように活用するかということでございます。国が示しております一例を申し上げますと、現状の活用といたしましては、例えば、教科書に掲載をされておりますQRコード、こちらを読み込んで調べ学習を行う、また英語の動画を視聴して学習効果を上げていくと。将来的にはデジタル教科書の活用でありますとか、児童生徒の回答等を瞬時に把握できるというような個に応じた対応、また双方向型の教育というものを目指しておるといったことでございます。

以上でございます。

○森重委員

時代も5Gとかいろいろ今からこの10年で目まぐるしく、随分変わってくると思うので、まずこの教育の場にこういうものを導入して、次世代を生きる子供たちが十分対応できる、また本当にいろんな意味で持続可能なこれからの世界に向かってといえは大きくなりますけども、そういうことがこのこういう教育の中で随分変わってくるんだろうなということを感じます。それは今わかりました。

それともう1点、今回のこの導入に際しまして、有利な補正予算債ということをおっしゃったので、この補正予算債について、ちょっと御説明いただけたらと思います。

○升教育総務課長

財源についてのお尋ねをいただきました。補正予算債につきましては、このたびの国の補正予算、こちらの補助金を活用することを前提に活用できるものとなっております。補助金の2分の1の残りの2分の1部分、こちらに100%の充当ができると、そのうち交付税の基準財政需要額に60%が算入されるという性質となっております。

以上でございます。

○森重委員

今回は、校内LANと、それから先ほど何かちょっと言われましたけども、電源キャビネットとかいうふうなこと、その整備ですけども、今後、生徒1人に1台それを全部あてがって、全ての工事が終わって、そして今の有利な補正等を活用して、実際に市が持ち出す総額といいますか、それをちょっとできればお聞きします。

○升教育総務課長

総額の事業費等に関するお尋ねをいただきました。このたびの校内LANの通信ネットワークの整備に係る事業費ということで、約3億3,700万円を計上させていただいております。先ほど申し上げましたように、こちらには1人1台の端末整備といった予算は計上されておられませんので、端末の予算ということになるかと思えますけれども、こちらにつきましては、今補助単価、国が示しておりますのが4万5,000円となっております。現時点の令和元年の5月1日時点の光市の小中学校の児童生徒数が3,444名ということになっておりますので、こちらを単純に掛けますと約1億5,000万円から6,000万円程度、端末の整備にかかるのではないかと考えております。

以上でございます。

○森重委員

先走ったようなことを聞いて申しわけないですけども、ここ何年間かで、かなり中学校も小学校も生徒がぐっと減ってまいります。そうしますと、1人1台の端末といいますか、これはどういうふうなことになるんですか。

○升教育総務課長

御指摘のとおり、少子化が進んでまいります。こちらの端末の整備については、今のところ、国が示しているスケジュール等を見ましても、令和5年度までに段階的に行っていくような形になっておりますので、そのあたりの動向は見きわめながら、御指摘のとおり、過剰にならないようにしてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○森重委員

よくわかりました。新しい時代に向けての導入ですので、なかなか厳しい時代ですけどもやるべきことはやらないといけないので、しっかり取り組んでいただきたいと思います。

以上です。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

・・・・・・・・・・休 憩・・・・・・・・・・

2 政策企画部関係分

(1) 付託事件審査

①議案第23号 令和元年度光市一般会計補正予算（第5号）（政策企画部所管分）

説 明：山岡財政課長 ～別紙

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

・・・・・・・・・・休 憩・・・・・・・・・・

3 市民部関係分

(1) 付託事件審査

①議案第23号 令和元年度光市一般会計補正予算（第5号）（市民部所管分）

説 明：高橋地域づくり推進課長 ～別紙

質 疑

○木村委員

ちょっと説明の中で1点確認します。補正予算書の21ページ、個人番号カード関連事務委任交付金、これ減額って言われたんですが、これ減額なんですか。説明で減額って言われましたけど。

○縄田市民課長

個人番号カード関連事務委任交付金は192万4,000円の増額です。すみません、訂正お願いします。

○木村委員

これ、収入のほうで出ていますよね。個人番号カード交付事業費補助金、国補助金10分の10、これに呼応したものです。

○縄田市民課長

そうでございます。

○木村委員

了解です。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

②議案第24号 令和元年度光市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）

説 明：縄田市民課長 ～別紙

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

③議案第27号 令和元年度光市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）

説 明：縄田市民課長 ～別紙

質 疑：なし

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」

・・・・・・・・・・・・・・・・・・休憩・・・・・・・・・・・・・・・・

4 総務部・消防担当部関係分

(1) 付託事件審査

①議案第23号 令和元年度光市一般会計補正予算（第5号）（総務部・消防担当部所管分）

説 明：加川総務課長 ～別紙
中原消防担当課長 ～別紙

質 疑

○田邊委員

こんにちは。17ページの職員退職手当の2,319万円の増額なんですけど、6名退職されたということなんですけども、12月に2名というのは確認しているんですけど、当初15名の退職者とプラス6名というところで。そのあたりは本人の希望で退職されたとは思いますが、何かちょっと気になる場所なんですけど、額がちょっと多いんで。どういった年代の方とか、そういったのが言える範囲で。これは二千三百幾らの退職金ということで、12月のときの2名と合わせて6名分の額がこれですか、それとも4名分なのかということなんですけども。

○加川総務課長

この退職金の額でございますが、12月の退職者2名分も含んででございます。それから、年代ですが、細かいことは申し上げられないんですけども、20代、30代で合わせて5人、40代、50代で1人でございます。

以上でございます。

○田邊委員

年度末ということで、職員がかなり減っているというところがちょっと気になるんですけど、今後、いろいろそういったところは気をつけてもらいたい、というところをここで述べておきます。

以上です。

○小田総務部長

今回の退職につきましては、1件が定年前の早期退職制度という形で、その制度にのって、通常出てくるのが定年前5年以内等の職員が1名でございます。

それと、もう1つは、今回のその他の部分については、おおむねが結婚とかそういう事例になりますので、なかなか気をつけるというよりも、結果としてこういうことが出ていくということでもありますので、御理解いただきたいと思っております。

以上です。

○田邊委員

わかりました。結果として出た数字というところで、理解しました。

討 論：なし

採 決：全会一致「可決すべきもの」